

渡邊拓人 17-2  
行政サービス  
ドーワ県立病院

【5Sコンペティション】5Sの普及・定着を目指す中、これまでに数多くの問題にぶつかって来ました。特に難しいと思った事が、自主性や規律性です。マラウイ人だからできない訳では無く、人間ならだれしも慣れない習慣を身に付けるという事は簡単な事ではありません。今回は、自主的に5S活動に取り組んでもらうために5Sコンペティション(=競争、試合)を計画しました。実はここ数カ月、自分の活動領域や能力に行き詰まりを感じていました。5Sの必要性を伝えたり、一緒に取り組んでみたり、組織的な働きかけを呼び掛けたりと試行錯誤しているのですが、やはり続かなかったり、意欲に欠けている面が目立ってしまいます。ですので今回は視点を変え、病院のスタッフ間で競ってもらおうと思い、この大会を企画しました。コンペ方式にする事で、スタッフ自身がどうしたらこの大会に勝てるか(向上できるか、成果を残せるか)を考え実行する事ができると思ったからです。第1回目となる今回の5Sコンペティションでは、5つの病棟を対象とし病棟対抗としました。まず、大会開催前に各病棟のスコアを付け、その後2週間の実行期間を設けます。この期間中5Sコンペティションのサポートチームが質問の受け答えやアドバイス等を与え、病棟内に5S活動を広げます。あくまでも各スタッフが自主的に取り組まなければ、なんの成果も得られません。その後再度、我々がスコアを付け、もっとも伸び率が高い病棟が優勝となります。開催するまでは、実際にスタッフが参加してくれるのかとても不安でした。私自身が計画実行しても、周りが付いて来なければただ悲しい一人芝居で終わってしまいます。さて、大会の行方は……

### 〈大会前〉

場所によっては医療現場とは思えない状況が沢山あります。数ある変化の中の一部を紹介します。



注射器などの医療道具が置いてある倉庫です。どこに何があるのか全く分かりません。

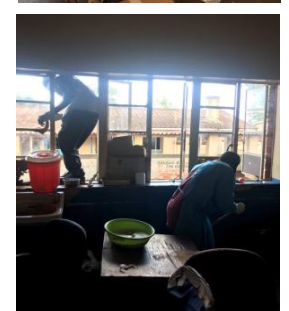
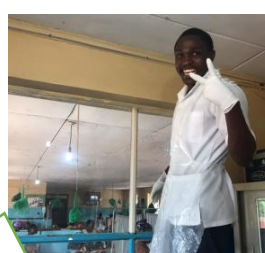


患者を処置する部屋の棚。包帯等がぐちゃぐちゃに置かれています。



入院患者用の処置トレー。なぜか古い書類までもが重なっています。

### 〈大会中〉



仕事の合間を見つけコツコツと頑張りました。まずは要らない物を捨てるところから。

つつく、

【後記】 新年あけましておめでとうございませう。マラウイでの二回目の新年を迎えました。マラウイの正月は日常とほとんど変わりありません。首都中心部のスパーマーケットなどではクリスマスツリーがまだ残っており、当然ながら日本の様な正月の雰囲気とは全く違います。地方に行けば通年変わらぬ状況に毎年季節が混乱します。印象としては正月に對してはそこまで重要視しておらず、特別なイベントもありません。新年を迎える瞬間にはロケット花火程度の花火がパラパラと上げる人もいますが、日本やアメリカ等のお祭り騒ぎのカウントダウンとは程遠いものがあります。それであっても日本人の私にとっては、気合を入るべき時でもありません。最近、ますます時間経過を早く感じたいの無いように頑張りたいと思います。